

大阪経済記者クラブ会員各位

(同時配布先：大阪市政記者クラブ)

「都市型自動運転船『海床(うみどこ)ロボット』による都市の水辺のイノベーションに関する実証実験」について

〔お問合せ〕大阪商工会議所 産業部(田中、松村、西田)

TEL: 06-6944-6300

- 大阪府、大阪市、大阪商工会議所で構成する「実証事業推進チーム大阪」は、株式会社竹中工務店（以下、「竹中工務店」）を代表法人とする海床ロボットコンソーシアムと特定非営利活動法人大阪水上安全協会が共同で実施する都市型自動運転船「海床(うみどこ)ロボット」による都市の水辺のイノベーションに関する実証実験（4回目）を支援する。
- 今回の実証実験は、2025年6月18日(水)～20日(金)に大阪城公園東外堀で実施する。
- 2021年度、22年度、23年度に引き続き4回目の実施となる今回は、海床ロボットのより安全な自動運航の実現に向けて、水中・水面の環境データの航行制御への活用可能性を検証する。

■ 実証実験の内容

「海床ロボット」は、純国産制御システムを搭載しており、海や運河・河川並びに湖沼などの水面に浮かべた床（3m四方）が自動で動き、離着岸する自動運転船である。4回目となる今回の実証実験では、超小型水上ドローン（海床ロボット MICRO）による水域環境データの収集を行い、水中の障害物や水深の変化などを検知して海床ロボットの航行制御に活用できるかを検証する。



海床ロボット5号機



超小型水上ドローン（海床ロボット MICRO）

■ 今後の展望

これまでの実証実験で得た結果をもとに、海床ロボットを水辺で利活用し、観光事業として社会実装できるよう整備を進める。また、開催中の大阪・関西万博にてロボットエクスペリエンス事業に採択されており、10月2日(木)から12日(日)まで会場水面で海床ロボットによる水上景観演出デモ、9月29日(月)から10月13日(月)までロボット&モビリティステーションで説明展示を行う。本実証を通じて、会場外でも未来社会の技術を見ることのできる場を提供し、万博との連携を図る。

<実施概要>

- 日 時 2025年6月18日（水）～20日（金）
- 場 所 大阪城公園 東外堀
- 実施主体 株式会社竹中工務店（海床ロボットコンソーシアム）
- 共同実験者 特定非営利活動法人大阪水上安全協会

<参考>

■ 海床ロボットコンソーシアムについて

「海床ロボット」は、竹中工務店を代表法人とし、同社を含む8社・法人（国立大学法人東京海洋大学清水研究室、株式会社 IHI、炎重工株式会社、株式会社水辺総研、新木場海床プロジェクト、一般社団法人ウォーター・スマート・レジリエンス研究協会、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社）で構成する海床ロボットコンソーシアムによる共同プロジェクトとして開発されたもの。

■ 実証事業推進チームについて

大阪府、大阪市、大阪商工会議所は、「未来社会の実験場」をコンセプトとする2025年大阪・関西万博やその先を見据えて、革新的な実証実験を行いやすい環境を整え、大阪で新しいビジネスを生み出す好循環を創り出し、「実証事業都市・大阪」を実現するため、「実証事業推進チーム大阪」を設置している。

以 上